

社会 * 課題プリント その④

★以下の手順で、学習を進めましょう。QRコードを読み取ると動画を見ることができます。(スマホも可。)読み取れない場合は、NHK for SchoolのHPを見て確認してください。

【今回の学習課題】 教科書P26~31

低い土地に住む人々は、どのように地形や気候条件を克服して、どんな生活や産業を営んでいるのか調べよう。

- ① 教科書P22・23を読み、低地での暮らしでは、どのような生活の苦労があるか、予想してみよう。

自由に記入

- ② 番組を見て、わかったことをまとめましょう。

(動画のURL…未来廣告ジャパン「低い土地の特ちょうと暮らし」<https://www.nhk.or.jp/syakai/mirai/> QRコードはこちら→)



【低い土地の暮らし 岐阜県海津市】

| 自然条件や気候条件の特ちょうと悩み | 地形条件を克服する方法 | 暮らしや産業にいかす |
|-----------------------------------|-------------------------|---|
| 例)川より低い土地に住んでいる ・洪水や水害に悩まされている | 例)輪中 ・水屋 ・排水機場を建設 | 例)平野部のため、広大で肥沃な農地があり、 ・豊富な川の水を稻作や畑作に利用 |

- ③ 番組を見て、感想・わかったこと・気付いたことなどを書きましょう。

自由に記入

④ 次の動画を見て、感想・わかつたこと・気付いたことなどを書きましょう。動画は4つあります。見れない場合は教科書P26~31をよく読んで、感想・わかつたこと・気付いたことなどを書きましょう。



テレーケについて

現在の輪中のくらし

低地のくらし(福岡県)

低地のくらし(オランダ)

自由に記入

(00000_14801220000=bluebirdquiverincorporation.com/...JPBの連携)

⑤ 教科書P26~31をよく読んで、学習のまとめを書きましょう。まとめるとときは以下の点でまとめましょう。

A:海津市の人々は、どのようにして水害からくらしを守ってきたのか

例) 川の流れを変え、高い堤防をつくるなど治水工事をくり返し、水害の少ない土地にした。

・今も水害に備えて、水防演習をしている。

B:海津市の人々は、豊かな水をどのように農業にいかしているのか

例) 入り組んだ水路をうめ立て、田の広さや形を整え、大型の機械を使う農業が主流ようになった。

・揚水機場やパイプラインが整い、農業に必要な水を自由に使えるようになった。

C:海津市の人々は、豊かな水をどのように生活にいかしているのか

例) 三つの川と輪中の豊かな水や河川辺の自然を利用してレジャー、スポーツ、食べ物などの新しい取り組みに力を入れている。

社会 * 課題プリント その⑤

★以下の手順で、学習を進めましょう。QRコードを読み取ると動画を見ることができます。(スマホも可。)読み取れない場合は、NHK for School のHPを見て確認してください。

【今回の学習課題】 教科書P42~47

日本の気候について考え、各地の気候の特色をまとめよう。

① 「日本の気候の変化」についての動画を見ます。

(動画のURL… https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005310894_00000)

QRコードはこちら→



② 次の質問に対する予想の答えを書きましょう。

A:同じ3月でも各地の様子がちがうのはなぜだろう?

自由に記入

B:桜がさきはじめる時期が場所によってちがうのはなぜだろう?

自由に記入

③ 次の言葉について、教科書P44を見て調べましょう。絵や図を使ってもOK!!!

つゆ 6月中ごろから7月ごろにかけて
雨が多くる時期のこと。
場所によっては短時間で多くの
雨がある。
農業にとってめぐみの雨となる大切な時期。

台風 夏から秋にかけて日本を襲う。
特に沖縄や九州、四国地方は
台風の被害が多い地域。

季節風 日本では夏と冬にふく。
例 夏には南東(太平洋)から。
冬には北西(ユーラシア大陸)
からふく。
夏には太平洋側に多くの雨、
冬には日本海側に雨や雪。

④ 「雨温図」についての動画をみます。

(動画のURL… https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005310895_00000)

QRコードはこちら→



⑤ 教科書P46の地図や雨温図を見て、気付いたことを書きましょう。

おなじ方コーナー

グラフを読み取る

気温と降水量の読み取り方

このページのグラフには、ぼうで月別の降水量が示され、折れ線で平均気温が示されています。これらを読み取ることで、その地域の気候の特徴がおおまかにわかります。

①降水量(ぼうグラフ)を読み

降水量の目もり(グラフの右側)を参考に、降水量の多い月と少ない月を読み取ろう。

②気温(折れ線グラフ)を読み

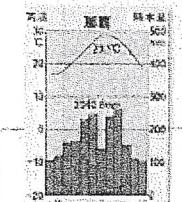
気温の目もり(グラフの左側)を参考に、気温が高い月と低い月を読み取ろう。

③他地域と比べる

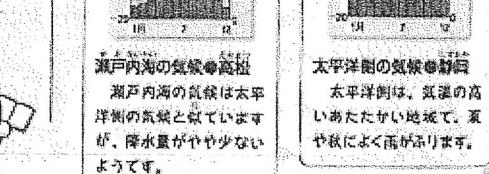
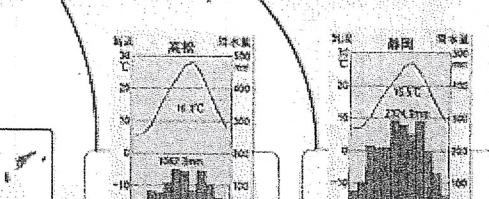
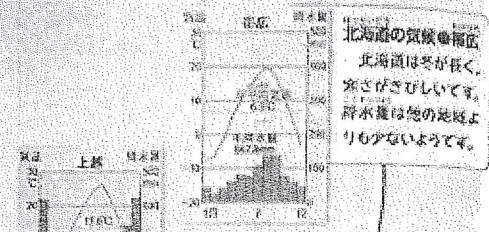
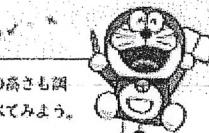
各地の気温や降水量を比べて、それぞれどのような特徴があるか考えてみよう。

④国土の気候のちがいをまとめた地図とグラフ

〔理科年表 平成31年〕日本各地の気候の特徴をまとめてみましょう。



沖縄と静岡の土地の高さも調べてみよう。答広も調べてみよう。



自由に記入

⑥ 教科書をよく読み、学習のまとめをしましょう。

★ 日本は(南北)に細長いので、(北)と(南)で大きく気候がことなります。

★ (季節風)と山地のえいきょうによって、(太平洋)側では夏に雨が多く、(日本海)側では冬に多くの雪が降る。

★ 日本列島の内側の中央高地や瀬戸内海は、(降水量)が少ない。

★ 土地の(高い)ところでは、気温が低くなる。